

新年のご挨拶

鹿児島市歯科医師会 会長 平田 哲也



新年あけましておめでとうございます。

鹿児島市医師会の先生方には、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は鹿児島市医師会の先生方には、市歯科医師会の会員が色々とお世話になりましたこと心より御礼申し上げます。

去年は新年早々能登半島地震が発生し、多大な被害が出ました。現在でもまだまだ復旧が進んでいないようです。また、異常気象ではないかと思われるような暑さが続き、様々なところでゲリラ豪雨が起こりました。能登地方には災害の追い打ちをかけてしまったようです。

南九州でも宮崎沖で地震が発生しております。鹿児島市では、幸いなことに大きな被害は見られなかったようですが、災害に対しての備えが必要と痛感しました。

政治に関しましては、知事選、衆議院選挙、市長選等がありましたが、自民党が大敗したことによる政局の混迷が、私たち医療行政に影響が出るのではないかと危惧しております。その中で、物価高対策や働き方改革などによる人材不足や人件費の高騰など、政治が対応していただかないといけないことがたくさんあります。また、人口動態では、少子高齢化がますます進んでいます。100歳以上の人口が、全国で95,000人を超えたようです。これからの診療スタイルが変わっていくのではないかと思います。コロナはニュースになることはほとんどなくなりましたが、感染は続いているようです。インフルエンザなども含めて、感染症対策は継続していかなければと考えます。

歯科医師会の課題としましては、会員の高齢化、歯科衛生士の不足、歯科材料の高騰など、残念ながらマイナス的なことが多くあります。特に歯科衛生士の不足は、医療連携を進めていく上で障害になるのではと危惧しております。様々な業種でも人材不足に悩んでいるようですが、患者様のためにも何とか確保していきたいと考えています。

最後に、戦争が終結し社会情勢が安定して災害も起こらないことを願い、先生方にとって素晴らしい年になりますよう祈念しまして、新年のあいさつといたします。